

平成30年度 第3回京丹波町子ども・子育て審議会 議事概要

日時：平成31年3月27日（水）午後1時30分～3時30分

場所：瑞穂保健福祉センター 集団指導室

出席委員：14名

欠席委員：5名

1 開会

2 開会あいさつ（会長）

- 会 長：年度末の大変お忙しい中、会議にご出席いただいたことにお礼を申し上げます。
今年京丹波町も新庁舎の建設、パーキングエリアのホテル誘致、企業の移転・進出など、にぎわう可能性のある年になるかと思っています。
2月には、出生された方が1名、亡くなられた方が30名を超えており、単純計算するものではないが、商工業界でも恐怖を感じているところである。
本日は、アンケート結果など報告事項が多くなるが、最後までご協力をお願いしたい。

<第2回審議会の質問への回答>

○京丹波町病院の小児科の診察日について

- ⇒事務局：小児科は、内科や外科のように常勤医がいなかったため、府立医大の非常勤医師を派遣いただき、運営してきた。昨年度まで、毎週土曜診療を行い、小児科の派遣も受けていたが、今年度から毎週の派遣は厳しい状況になり、第2・4土曜日の診療となった。町としては、毎週の派遣を引き続き求めている。

3 協議事項

(1) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果について

【事務局による説明】

- 会 長：事務局からの説明について、質問などはないか。
委 員：放課後児童クラブの施設・設備の改善について、のびのび児童クラブ1組がある旧須知小学校は今後どうなるのか。
⇒事務局：平成31年度において、新しい施設の建設を計画している。
委 員：就学前の子育ての悩みや小学生の子育ての悩みは、どのように変化しているのか。

⇒事務局：回答の上位3つは前回の調査の結果と同じ傾向であるが、「子どもの教育や将来の教育費」が4.6ポイント増加している。小学生についても、「子どもの教育や将来の教育費」と「子どもを叱りすぎているような気がする」という回答が、前回、5年前調査でも同じ順で多い。「教育費」は2.2ポイント増加、「叱りすぎている」は2.2ポイントの減少となっているが、大きな変化はない。小学生では「友達付き合い」が大きく減少しており、全体的に減少したものが多い。

委員：自由記述の意見に対して、どのように対応されるのか。

⇒事務局：多くの方から貴重なご意見をいただいた。ご意見については、今後の取り組みの参考としたい。

(2) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の評価について

【事務局による説明】

会長：事務局からの説明について、質問などはないか。この審議会に参加した感想など、全体を通した総括をお願いしたい。

副会長：今までは知らなかった子どもを取り巻く状況もよくわかり、良い経験となった。子どもにとって暮らしやすい町は、だれにとっても安心・安全で暮らしやすい町になると思う。また、だれにとっても安心・安全な町は、子どもにとっても暮らしやすい町であると思うので、その様な町になるよう考えて行けたらいいと思う。

委員：幼児期は、人間の土台を作る大切な時期である。教育委員会及び学校と連携した福祉教育に係る取り組みの充実、認定こども園建設に関しては、子育ての現役世代の意見を幅広く取り入れる方策を検討することとあるが、教育の部分はとても大事である。教育委員会との連携はどう考えているのか。こども未来課となって進んでいくとは思いますが、どのように進んでいくのか。自由意見にもあったように、認定こども園の1号認定と2号認定の子どもについて、教育の差ができるのではないかと心配である。そのあたりが保護者にとって不安なのではないか。

委員：自由意見の経済的支援の中で、京丹波町は医療費や出産祝い金など子育て支援が充実していると書いてあったが、町はもっと良いところをPRしていただきたい。本気で子どものことを考えてくれる公募委員をもっと増やしてもらいたい。

委員：このアンケートが、次の計画にどのように生かされるのか、我々も考え、行政も考えていただきたい。

昨年度、こども園の園舎建設の会議に出席したが、保護者の方にはいろいろな情報が伝わっていない。子育て世代の不安を解消できるような、情報の発信や情報提供をお願いしたい。

委員：町から情報が届きにくいので、子育て世代に対しアピールし、情報を提供してもらいたい。

- 委員：子育ては保育所や学童に大分お世話になっている。今後もよろしくお願ひしたい。
- 委員：いろいろ勉強になった。幼稚園の短時保育の時間と子育て支援センターのイベントが重なってイベントに参加できないことがあるので、部署間の連携を図ってもらおうと、活動の幅が広がりありがたい。
- 委員：平成 30 年度に、京丹波町の第 2 次食育推進計画を策定した。平成 31 年度から 8 年間の計画期間で、主に 18 歳までの子どもや保護者をメインとした計画である。特に重点的に取り組みたいこととして、朝ご飯を毎日食べる習慣、健康課題として高血圧対策があるので、子どもの時から野菜や果物摂取、減塩により、保護者も含め若い時から生活習慣病の予防に努めていただきたい。新年度の住民健診もよろしくお願ひしたい。
- 委員：子ども・子育てを考えるにあたっては、子育ての当事者の意見が一番重要である。情報は、こちらからは発信しているつもりでも、受け取る方には伝わっていないことがある。相談窓口も、当事者に伝わっていないということなので、しっかり情報を発信して、皆さんの困り事に対応できるように考えていきたい。第 1 期計画で達成できていないことは、重要視して次に繋げていただきたい。
- 委員：町の事業をいろいろ知らなかった、老人会にもいろいろ伝えて、子育てに協力していきたい。
- 委員：これからますます、お母さんが働く時代になると思うが、認定こども園ができることはすごくうれしい。
- 委員：このようなアンケート結果をみて、子どもは一人で大きくなるのではなく、周りの環境や行政、関係者、周りの方に助けていただいて大きく育ってきたと感じた。子育ての環境が整った町になることを願っている。このアンケート結果を子どもの未来のために役立てていただきたい。
- 委員：卒園式に参加したが、子どもの成長をみて、生きる力のすばらしさ、また、それを支えた家庭のすばらしさ、教育はすばらしいと感銘を受けた。今回の資料を見て思ったのは、保護者の経済的負担、受益者負担は当然だと考えているところである。もうひとつは環境整備、仕事と家庭の両立など、現状をみると満足度も真ん中、子育て環境はあまり変わらないという結果になっている。医療体制、放課後の子ども達の受け入れ、安心できる環境整備が今後のまちの繁栄には大事と認識した。
- 会長：これからも子ども達の安全をまもるためにハード面、ソフト面で考えていただきたい。

(3) その他

特になし

4 報告事項

(1) 子育て世帯住宅リフォーム支援事業補助金について

【事務局による説明】

*質問なし

5 閉会あいさつ（副会長）

副会長：本日も熱心にご審議いただいたことにお礼を申し上げます。今期、最終の審議会となり、委員の皆様、事務局、関係各位に感謝を申し上げます。

誕生された子どもたち、これから誕生されていく子どもたちが健やかに成長されるよう、ますます京丹波町の子育て支援施策が充実してくことを願っている。今後ともご協力をお願いしたい。

6 閉会